

管理運営の概要

【ガバナンス】

本学に、企画委員会を置き、本学が社会の変化、学術の発展に対応し一層の充実・発展を達成できるよう、本学の教育・研究組織及び管理・運営のあり方等に関連して総合的見地から常時見直しに心がけ、本学の将来発展のために必要な諸施策等を検討し、必要に応じて調査検討並びに企画立案を行う。さらに、本学の大学改革の総合的かつ円滑な推進を図り、教授会等及び最終機関である大学協議会に諮り、必要に応じ、学校法人永原学園に諮問等を行う。

【自己点検・評価】

本学では、かなり早い時期から自己点検・評価のための体制を確立し、多様な形で審議し、検討をしてきた。平成13年度には、それらの成果をまとめて自己点検・評価報告書「新世紀の大学像を求めて」を作成し、広く公表した。

一方で、平成14年度に学校教育法が改正され、平成16年4月以降、すべての大学は「認証評価機関」による外部評価を受けることが義務付けられた。本学は、このような第三者評価を受けることを前提として、平成16年度に、平成21年度までの6年間を計画期間とする「中期目標・中期計画」を策定し、その実現を目指して毎年、「年度アクションプログラム」を策定して、様々な改革・改善を進めてきた。その過程で、平成17年6月には、点検・評価報告書第2報「教育・研究と修学環境の充実を目指して」を発行した。この報告書と共に、事務部で作成した「大学基礎データ」に基づいて、平成18年度に大学基準協会の第三者評価を受けるための「点検・評価報告書」を作成した。

この「点検・評価報告書」は平成18年4月に大学基準協会に送付され、同年10月23日に大学基準協会の各専門分科会委員による実地調査を受けた。その結果、平成19年3月13日付けで、「適合」の認定を受け、大学基準協会の正会員大学として加盟・登録が承認された（認定期間：平成19年4月1日～平成24年3月31日までの5年間）。

初めて受けた第三者評価に関連した資料、「点検・評価報告書」、「大学基礎データ」並びに「認証評価結果」をまとめて広く世間に公表した。本学は、平成19年度にリハビリテーション学部を増設し、複数学部を有する大学となり、また平成21年度には子ども学部を増設して、大学院健康福祉学研究科と3つの学部を擁する大学となった。

今回の第三者評価は、平成23年10月に実地調査を受け、平成23年度末に受審する予定である。また、学内では「第2次中期目標・中期計画（平成22年度～平成25年度）」を策定しており、毎年その具体的な「年度アクションプログラム」を作成して、その達成度の検証を毎年実行し、改善・改革を推進している。

【情報公開】

学則第2条の2に「本学は、本学の教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする」旨、定めており、既往の情報提供に加え、平成23年4月から教育情報の公開を積極的に行なうことにした。

【施設設備整備】

西九州大学は、日の隈山を仰ぎ、筑紫平野を見晴らす小高い丘陵地にあります。広大で緑豊かな自然に囲まれたキャンパスは、楽しく快適な学園生活を送るのに最適な環境です。

また、学内には日々進歩する時代のニーズに応えるため、最新の機器の導入や施設・設備の整備が進み、高度な実践的学問研究が出来るようになっていきます。

豊かな自然環境の中、勉学に課外活動にと勤しむ学生達。笑顔が弾み、笑い声がこだまします。多彩な個性を持った学生たちが、落ち着いた環境と開放的なキャンパスでゆとりある学生生活を送っています。

<図書館>

本学の図書館は、神埼キャンパスにある本館、神園キャンパスにある分館そして神埼キャンパスリハビリテーション棟にある分室から成り立っています。本館の面積は 848 m²あり、約 9 万冊の本が収容可能であり、現在 8 万 3 千冊ほどの図書を所蔵しています。分館は 661 m²の面積があり、約 5 万冊の本が収容可能であり、現在 4 万冊ほどの図書を所蔵しています。最後に分室ですが、213 m²の面積があり、約 2 万冊の本が収容可能であり、4 千 6 百冊ほどの図書を所蔵しています。リハビリテーション学の専門図書を中心に本館と連携をとりながら運営しています。どの館も入口には、ブックディテクションシステムを導入し、図書の紛失等を未然に防いでいます。閲覧室には本館に 116、分館に 109、分室に 37 の座席を用意しています。なお、分館については短期大学部附属図書館との併用型図書館として新規に平成 21 年よりオープンし、新たにグループや図書館を活用した授業で利用できる「グループ学習室」を備えています。また、全館視聴覚コーナーにて、所蔵する視聴覚資料の DVD やビデオを視聴できるとともに、学内 LAN コーナーにて文献検索等も行うことができます。

本学図書館の特長として、全館とも情報館システムを導入しており各館の所蔵資料を即座に横断検索することもできます。なお、検索資料については、両キャンパスどちらからでも貸出・返却・取り寄せが可能であり、利用者の便を図っています。また、相互利用サービスをはかるため外部図書館とも積極的に連携をはかっています。開館日等は、平日 (8:50~19:50)、第 2・4 週の土曜日 (9:30~16:30) であり、本学生はもとより高校生や地域の皆さんへも積極的に開放しています。

【その他】